



横尾中だより

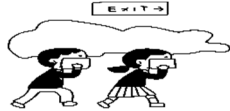
校訓「自立」 〈学校スローガン No Challenge, No Chance〉

R5. 10. 24
第36号

発行者
長崎市立横尾中学校
校長 小浦 末浩

朝夕が少し寒くなってきているようです。寒がりの私としては、朝から半袖で過ごしている生徒や職員を見て、羨まし思っております。1日の温度差が大きくなってきています。風邪にご注意ください。

避難訓練で



さて、学校は行事が多く、生徒たちも活躍の場が増えてきています。紹介していない行事もありましたので、ご紹介しておきます。

10月10日(火)、1, 2年中間テスト、3年実力テストが終わった後の6校時目に、避難訓練を実施しました。非常階段を使って降りることに恐怖感を覚えた生徒もいたようですが、イザという時のために非常階段を下りてもらいました。今回は消防局から2人の方に来ていただき、体験的な学習を行いました。1つが消火器の使い方の実技、もう1つがスモーク体験を実施しました。消火器の使い方については、大きな声で「火事だ!」と叫びながら火事の発生を周囲に知らせ、消火器を使って的に当てることをやってもらいました。スモーク体験は、簡易テントを立て、その中に無害の煙を充満させて、そのテントの中を通るという体験でした。こちらは全員に体験してもらいました。スモーク体験では、煙はテントの上の方に漂っており、下の方はまだ薄いかなと思えました。煙が充満しているところでは、煙を吸わないように目と口をハンカチなどで塞ぎ、できるだけ身をかがめて移動する、といったことが実感できたように思います。なかなかこういう体験はしたことがなく、消火器の使い方の実技、スモーク体験とも良い経験をさせていただきました。準備等も含めて、消防署の方々にはご苦勞をおかけいたしました。感謝です。



1年：英語研修

本校は、令和4年度・5年度の2か年間、長崎県教育委員会・長崎市教育員会の研究指定を受け、地域連携・生き方指導に取り組んでおります。

地域連携は、地域行事への参加と長崎外国語大学との交流を大きな柱として取り組んでおります。10月18日(水)、1年生は長崎外国語大学に英語研修と施設見学に行ってきました。川島教授の英語の講義を受け、クマー先生の日本語の授業に参加し、習ったフレーズを、留学生に対して女子生徒2名が実際にチャレンジしてみました。回答が返ってきましたので、きちんと通じたことがわかりました。川島先生の授業では発音が大事なことがわかったことと思います。その後、大学内を見て回りましたが、講義中の部屋が多く、迷惑にならないかヒヤヒヤした気持ちで回りました。案内は教職課程の大学生3年生の5名がやってくれました。生徒たちも大学の施設・設備も含めて、勉強になったようでした。2月には、2年生が英語以外の語学研修を受けることになっています。



この週末は、10月28日(土)子どももみこし、29日(日)には、横尾まつりが開催されます。なかなか生徒が集まらず、たいへんでした。参加してくれる生徒たちには感謝です。

また、来週には修学旅行があります。説明会ではいくつかの質問があったとのこと。まず、子どもたちの動きですが、本校のホームページでご紹介する予定にしています。是非、本校のホームページをご確認ください。また、寒さ対策ですが、冬服の下はセーター類の着用可です。コート類については荷物になりますので、ご家庭のご判断にお任せいたします。心配な方は持たせていただいて結構です。ただし、乗り物の中では脱いでもらいます。

(裏面には合唱コンクールの感想を載せています)

合唱コンクールが終わって少し悲しい気持ちになりました。中学3年生だから何もかもが中学生最後でこのメンバーで何かをすることが少なくなっていくのが分かります。でも、中学生最後だからこそ楽しみつつ頑張らないといけません。本番はとても緊張したけど、結果、金賞を取れてとても良い中学3年生の思い出になったと思います。受験生だという気持ちが強くなってきました。合唱コンクールも金賞を取れたので、受験も合格をしたいと思います。合唱コンクールの練習は大変だったけど、頑張ったから金賞を取ることができたんじゃないかと思います。この合唱コンクールで何事も頑張ることが大事と改めて思いました。

(井手さん)

今回の合唱コンクールは、中学生最後のコンクールでした。合唱コンクールの前に自分で決めた目標を自分の中では精一杯に頑張ることができたかなと思います。自分は指揮者として、とても緊張し、不安に思う部分をたくさんあったけど最後までやり遂げることができ、良かったと思います。また、みんなの力で金賞と最優秀賞を得ることができ、目標にもある「金賞を取るために大きな声で歌う」を果たすことができました。Cの「練習を真面目に、開始時刻に遅れない」に対する目標もハモリ我慢大会やオーディションなど、いろいろな工夫をして先生や生徒全員が一丸となり、最後までやり遂げることができました。この行事ではみんなと協力し合い、全員で頑張ることができ、とても良い思い出になりました。

(深堀さん)

合唱をたくさんやってきたからこそ本番ありという感じだと思いました。たくさんの方の努力を一体化させて自分の目標へ向かって一生懸命練習したからこそ良い合唱コンクールになり、優勝をとれたんじゃないかなと思います。自分の目標にあるように表現力、ハーモニーがとても良かったです。練習の時、他の音も聞きながら歌っていると綺麗なハーモニーが作られてて、歌ってる人も聞いている人も感動させることはできるのが音楽だなと思い、素晴らしい芸術作品を3年間、私たちが主人公として作り上げることができたので良かったです。3年前はこういう大切さを知らなかったけど、今では素晴らしいなと思うことができました。いい思い出を作ることができ、本当に良かったです。

(松下さん)

全ての目標を達成することができたと思います。まず、歌ではクラスが1つになってとても綺麗な歌声が体育館に響いていました。合唱コンクールは終わって、録画しているのを聞いた時、自分達ってこんなに声を出していたんだと驚きました。また、伴奏では、前奏でミスをしてしまいましたが、止まらずに引き終えました。緊張もあり、練習の時より早くなったのにもかかわらず、みんな合わせてくれてとても安心しました。今年の合唱コンクールは伴奏をやろうか迷っていましたが、夏休み中に頑張った良かったと心から思いました。私は新しいことに挑戦するのは得意な方ではないけれど、今回の合唱コンクールを通して、新しいことに挑戦することを大切さが分かりました。また、連合音楽会があるので気を抜かないようにします。今度は3年生全員が一丸となって、合唱するのでさらに良いものを作れると思います。ブリックホールで伴奏を弾くのがとても楽しみです。

(小川さん)

私はアルトのパートリーダーでした。最初は「昼休み、潰れちゃうな」「大きい声出すのは恥ずかしいな」と思っていて、練習に参加するのは楽しくありませんでした。ですが、このままではダメなんじゃないかと思わせてくれたのは、立部先生の「勝ちをねらうんじゃない。2組にしかできない合唱ができればいい」という言葉でした。これを聞いて、私は「そうだな、大事なのは結果じゃなくてどれだけ頑張れたか、その取り組む姿勢だな」と思いました。その後、アルトとソプラノ、男子は男子で自分達が音をとれているかの確認から始めました。結果は、金賞と最優秀賞を取ることができました。結果発表の時は、「2組しかできない合唱が認めてもらえた」という喜びがありました。次は連合音楽会です。1組と2組のいい所を出し合い、次は横尾中3年にしかできない最高の合唱をしたいです。

(飯田さん)